

寒いが続いています。新型コロナウイルス感染症の拡大が収束せず、緊急事態宣言が延長されることとなりました。引き続き、「うがい、手洗いの徹底」を始めとした感染症対策について、ご家庭でもお声掛けをお願いします。

## 行事中止のお知らせ

緊急事態宣言の延長を受け、以下の行事を中止することにしました。

### 【授業参観の中止】

2月15日(月)・16日(火)に予定していた授業参観を中止します。

### 【クラブ見学会(3年生)の中止】

2月18日(木)に予定していたクラブ見学会を中止します。4~6年生は、通常通りのクラブ活動を行います。3年生は6時間目にクラブ活動を見学する予定でしたが、中止のため、5時間目終了後(14:25頃)に下校します。

### 【芸術鑑賞会の中止】

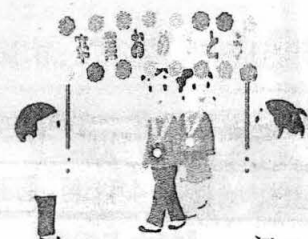
3月3日(水)・4日(木)・5日(金)に予定していた芸術鑑賞会を中止します。

どの行事も、何とか工夫して実施する方法を検討しましたが、子どもたちの健康と安全を最優先に考えた結果、実施は困難であると判断しました。ご理解の程、よろしく願いいたします。

## 3月の行事予定 ※2月5日現在

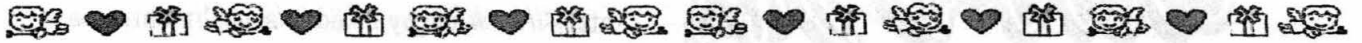
1日(月)	分団会(2限) 全学年5時間授業 14:40下校
4日(木)	引き落とし日 全学年5時間授業 14:25下校
8日(月)	あいさつ週間
11日(木)	防災と安全の日 6年生を送る会
18日(木)	給食終了 1~4年・6年:4時間授業 13:30下校 5年卒業式準備(5・6限) 15:20下校
19日(金)	卒業式
22日(月)	1~5年:3時間授業 11:40下校
23日(火)	1~5年:3時間授業 11:25下校
24日(水)	修了式

6年生を送る会は、感染症予防のため、全校児童が体育館に集まるという従来の方法を見直し、学年ごとにビデオレターを撮影し、6年生に贈ることになりました。



# 1・2月の子どもたち

学校での子どもたちの様子を、一部ですがお伝えします。



吉村先生のお話



「ダンゴムシのポーズ」の練習

## 【避難訓練】

1月15日（金）に元名古屋市港防災センター所長の吉村隆先生を招いて、避難訓練を実施しました。

避難訓練の実施日は伝えましたが、その日のいつ訓練を行うかは予告せず、実際に緊急地震速報が発せられた時に、できる限り近い状況で訓練を行いました。緊急地震速報の音とともに、教室にいた子は机の下に避難していました。廊下を歩いていた子は、その場で「ダンゴムシのポーズ」をしていました。運動場で遊んでいた子は慌てずに運動場の中央に集まっていました。

これまでの学びを生かして、子どもたちは自分の身を自分で守ることができるようになりつつあります。



3年2組 社会科



4年6組 図画工作科

## 【努力点授業】

本校では、『わかった』『できた』と実感することができる授業づくり」を学校努力点のテーマに掲げています。

1月26日（火）に行った3年2組の社会科の授業や、2月2日（火）に行った4年6組の図画工作科の授業では、今、教室への導入を進めているタブレットPCを、早速、活用していました。まだ環境整備を進めている段階ですが、今後、どんどん活用の幅を広げていきたいと、子どもたちの学びをさらに深めていくことができるように、タブレットPCを授業の中で上手に活用していきます。





日頃は、学校教育にご理解とご協力いただきありがとうございます。昨年の12月に実施しました「学校教育に関するアンケート」の結果がまとまりましたので、お知らせします。

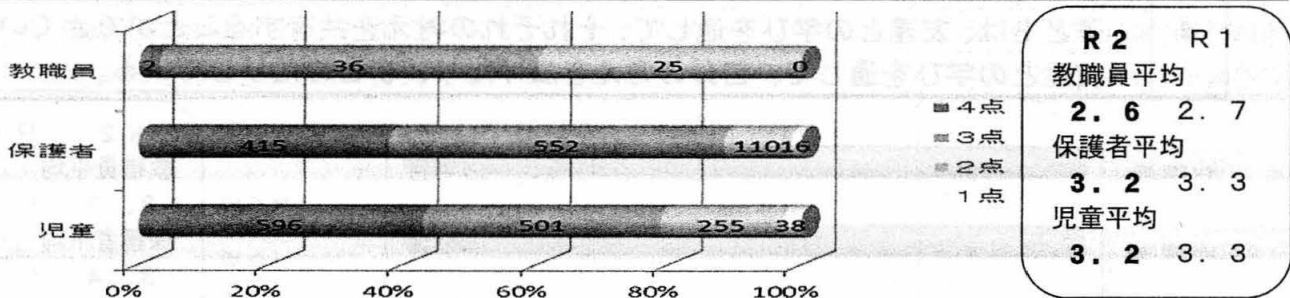


## 学校教育に関するアンケートの結果

- 1 アンケート回収数 児童：1344人 保護者：1083人 教職員：63人  
2 集計のまとめ  
※ 各項目とも、上段＝教職員 中段＝保護者 下段＝児童の回答を表します。  
※ 回答は、4点：よくあてはまる 3点：ややあてはまる 2点：ややあてはまらない 1点：全くあてはまらない

### <あいさつ>

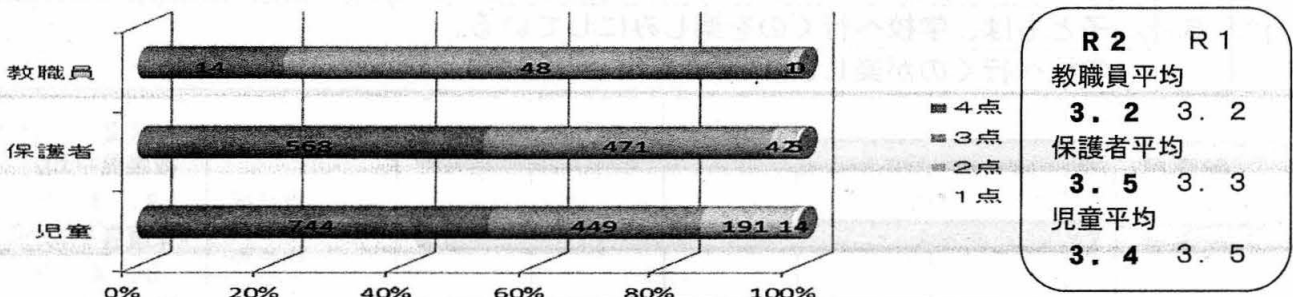
- 1 子どもたちは、学校で進んであいさつができています。  
子どもは、家庭や地域であいさつができています。  
自分から進んであいさつをしている。



児童や保護者ともに、8割以上が「進んであいさつしている」と答えています。教職員は約6割にとどまっています。児童会を中心に「あいさつ運動」に取り組んでいますが、「進んであいさつ」できる姿には至っていません。望ましいあいさつの習慣化に向けて、粘り強く指導していきます。

### <なかよし>

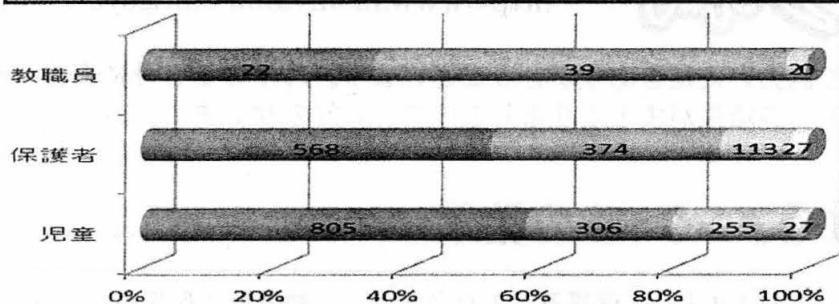
- 2 子どもは、友達に優しく接したり、気持ちを考えて行動したりすることができている。  
子どもは、友達に優しく接したり、気持ちを考えて行動したりすることができている。  
友達に優しくしたり、気持ちを考えて行動したりしている。



三者ともに、9割近くが「なかよく行動できている」と答えています。臨時休業により、学校で友達と過ごす時間が減ったこともあり、再開後は、これまでの時間を取り戻すかのように、日を追うごとに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿が見られました。毎日の生活はもちろん、運動会や展覧会などの学校行事や集会委員会のレクリエーションなど、共通の目標に向かって行動しようと結束する姿には、「コロナには負けない！」という西山小の児童の意志が表れていました。今後も、よりよい人間関係づくりを目指した生活指導に取り組んでいきたいと考えます。

## <体力>

3 子どもたちは、制約された教育環境の中で、進んで体を動かしている。  
 様々な制約があるものの、子どもは、学校で積極的に体を動かしている。  
 体育の授業や休み時間には、思い切り体を動かしている。



	R 2	R 1
教職員平均	3.3	3.2
保護者平均	3.4	3.3
児童平均	3.4	3.6

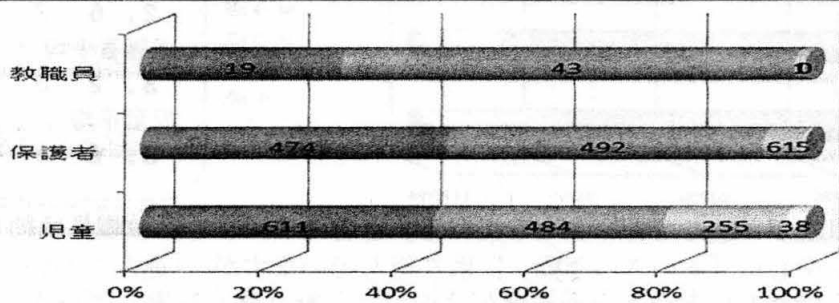
教職員や保護者は、9割近くが「進んで体を動かしている」と答えていることに比べ、児童は約8割しか実感できていません。運動場は学年によって使用できる時間が限られていることや、体育科の授業においてゲーム運動ができないなどの制約により、運動欲求が満たされていないことが要因と考えます。マスクを取り、力いっぱい運動できる状況に戻ったら、限られた場所や時間を有効活用しながら、伸び伸びと運動することができる指導内容の検討や環境づくりに取り組んでいきたいと考えます。



遊具遊びも大人気！

## <努力点>

4 子どもたちは、友達と学びながら考えを深め、学びを共有することができている。  
 子どもは、友達との学びを通して、それぞれの考えを共有することができている。  
 友達との学びを通して、自分の考えを広げたり、まとめたりしている。



	R 2	R 1
教職員平均	3.3	3.0
保護者平均	3.4	3.3
児童平均	3.2	3.3

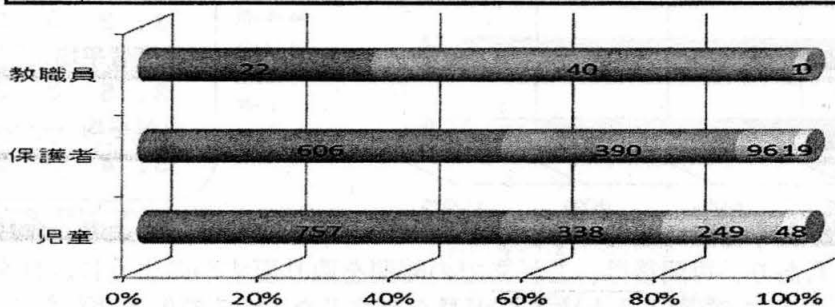
8割以上が「友達と学び、考えを共有することができている」と答えています。考えを共有したくなる「発問の工夫」と対話形式やツールを活用した「共有のさせ方」を手立てにしたことで、目指す姿を引き出すことができたと考えます。タブレット導入を見据え、よりよい学びを追求していきます。

皆で考えを共有し合う姿



## <たのしい>

5 子どもたちは、学校での学習や生活を楽しむことができている。  
 子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。  
 学校へ行くのが楽しい。



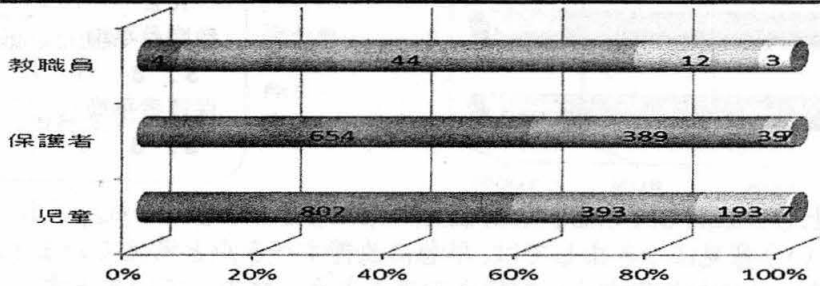
	R 2	R 1
教職員平均	3.3	3.3
保護者平均	3.4	3.4
児童平均	3.3	3.4

三者とも、8割以上が「学校へ行くのが楽しい」と答えていますが、2割弱の児童は「そう思わない」と答えています。5月末までの臨時休業や通常とは異なる長期休業、授業日課の変更など、不安定な日々が続いたことにより、精神的な負担になったことも要因の一つであると考えます。不安な気持ちを抱えている子どもたちのケアに努めながら、様々な変化にも対応できるような、たくましい心と体を育てていくことが必要であると考えます。



<けがの防止>

6 子どもたちは、学校のきまりを守り、安全に生活することができている。  
 子どもは、学校のきまりを守り、安全に気を付けて学校生活を送っている。  
 学校のきまりを守り、安全に過ごしている。



	R 2	R 1
教職員平均	2.7	2.9
保護者平均	3.6	3.5
児童平均	3.4	3.5

児童・保護者とも8割以上「守ることができている」と答えていますが、教職員は6割を下回りました。理由は、休業期間が2か月あったにも関わらず、医療機関を受診したけがは12月末現在で127件と、昨年より16件も増加。ひと月で40人も病院搬送した月もあり、非常事態と言えます。

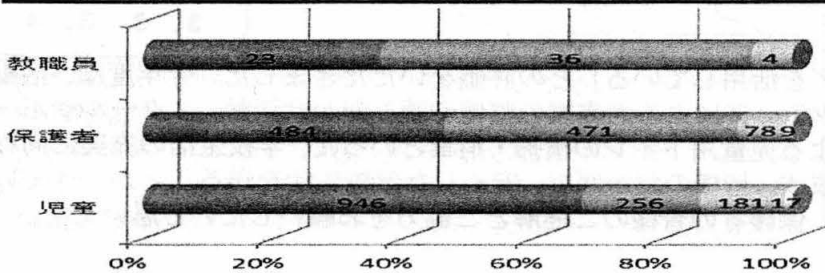
多くの児童が集う運動場



休み時間の運動場での発生が半数以上であることから「学校のきまり」に基づき、安全な過ごし方を徹底する指導に取り組んでいくべきと考えます。

<教育相談>

7 子どもたちの話をよく聞き、指導について保護者に連絡を取っている。  
 学校は、子どもの話をよく聞き、必要に応じて保護者との連絡をきめ細かくとっている。  
 先生は、何かあったときには、きちんと話を聞いてくれる。

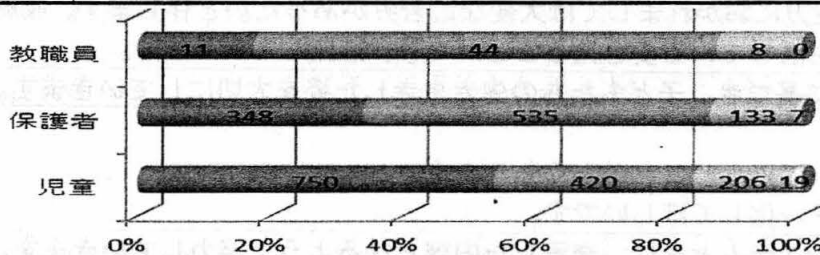


	R 2	R 1
教職員平均	3.3	3.3
保護者平均	3.4	3.3
児童平均	3.5	3.7

三者ともに9割以上が「話をよく聞いている」と答えています。日常生活での会話や生活日記などのやりとりを通して、児童と教師間の対話が成り立っているのではないかと考えます。しかし、全ての児童に対して、十分に時間が確保されているとは言えません。児童が投げ掛ける声や姿に目を向けながら、学校発信の教育相談体制確立に向けて、工夫や改善に努めていきたいと考えます。

<防災意識>

8 子どもたちは、防災知識を身に付け、自分の身は自分で守ろうとしている。  
 子どもは、実践的な防災知識を身に付け、自分の身は自分で守ろうとしている。  
 火事や地震の避難訓練で、学んだことをしっかりと覚えている。



	R 2	R 1
教職員平均	3.0	
保護者平均	3.2	
児童平均	3.4	

三者ともに8割以上が「覚えている・守ろうとしている」と答えています。今年度からの新規項目ですが、防災意識の高揚を目的に、実践的な避難訓練に取り組んでいます。元名古屋市港防災センター長・吉村隆氏に依頼をし、丁寧なご指導のもと、「自分の命は、自分で守る！」ための行動化に向けて、児童への防災指導に取り組んでいます。PTA家庭教育セミナー（紙面開催）でも、資料をお配りしています。ぜひ、ご一読いただき、ご家庭でも実践していただきますよう、お願いいたします。



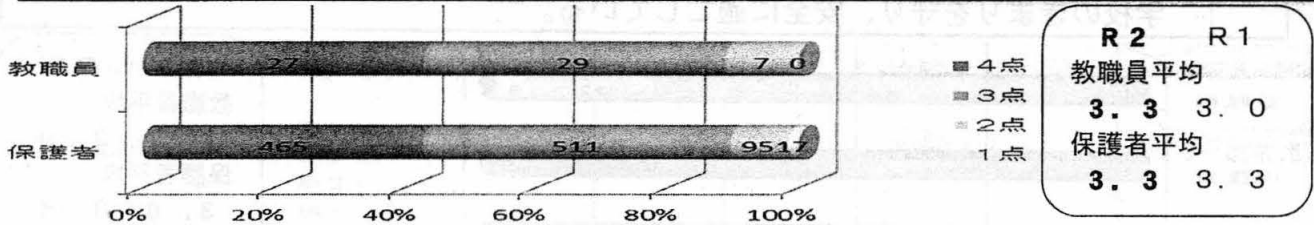
ご存じ?「ダンゴムシ」の姿勢

## <学校理解>

9

学校は、学校の取り組みや子どもたちの様子を積極的に公開している。

学校は、学年だよりやホームページなどを通して、子どもたちの様子を公開している。



教職員・保護者ともに、8割以上も「公開している」と評価をいただきました。しかし、「ホームページの更新がされていない」という意見につきましては、早急に改善すべき点と考えています。今後は、最新の情報を「速く・正確に・分かりやすく」お伝えできるよう、努力していきます。

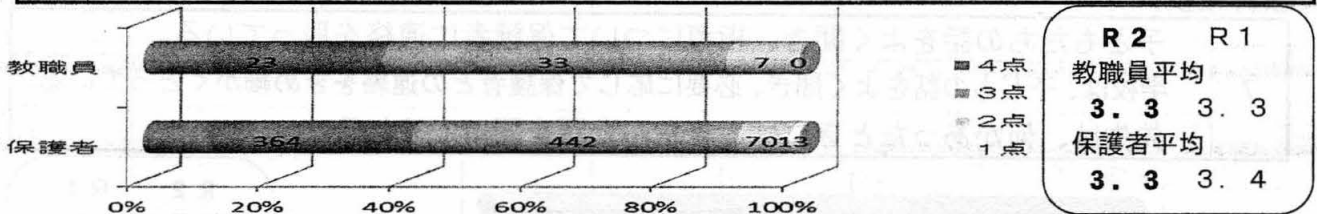
また、当面の間の制約はありますが、授業参観などの学校行事の際にも、学校生活や努力点授業を通して、積極的にお子さまの様子をお伝えしていきます。

## <ボランティア>

10

学校は、ボランティアの力を積極的に活用している。

学校は、地域やPTA、ボランティアの力を活用している。



8割以上の方から「ボランティアを活用している」との評価をいただきました。今年度は、活動の機会や場が少ない中、図書ボランティアによる図書室の整備や読み聞かせ活動、スクールサポートスタッフや地域ボランティアによる児童用トイレの清掃・消毒といった、学校生活の充実に向けた取り組みにご尽力いただいています。皆様のおかげで、安心した学校生活を送ることができていることに改めて感謝するとともに、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いしたいと思います。

☆いただいたご意見・ご要望も紹介します。集約の都合上、一部まとめています。ご了承ください。

### ○生活指導について

- ・縦割りにして、1～6年生は一緒に遊んだりできるような時間があるといいと思います。
- ・人数が多く接触事故も多いと思うので、2学年ずつに区切って使用させた方が良く思います。
- 学校のきまりでは、運動場は全学年の時間と1～3年・4～6年の時間に区分けしています。
- しかし、けがの発生は休み時間の運動場が最も多く、学校としても問題ととらえています。

### ○学習指導について

- ・本年度は、コロナ禍の中、先生方におかれましては大変なご苦労があったかと存じます。制約はあったものの、子どもなりに生活している姿を見ることができ、感謝しております。
- 「学校の新しい生活様式」に基づき、子どもたちの生き生きした姿を大切にしていきます。

### ○情報公開について

- ・学校ホームページの更新がされていないことがよくあります。
- ・欠席連絡をメールなどのデジタル化してほしいです。
- 学校ホームページ・メールシステムともに、充実した内容となるよう、努力していきます。

### ○学校行事について

- ・運動会は学年ごとに保護者を入れ替えるなどして、観覧できるようにしたらよいと思います。
- 保護者様の参加形態などにつきましては、来年度に行事の実施を含めて検討していきます。
- 新型コロナウイルスの感染状況を鑑みながら、よりよい行事となるよう、工夫していきます。

### ○PTA活動について

- ・PTAの簡略化希望。 ・PTA活動はこのままでよい。
- これまでの活動を振り返りながら、充実した活動となるよう、内容の改善を図っていきます。